

ヴィクトリアマイル

<AI注目馬>

1, 12, 14, 16

<最終見解>

スプリント適性と直線スピードを兼ね備えたタイプにマッチするレース。

スプリント適性の高い馬は先行持続競馬が得意な馬が多く、直線スピードを伸ばす競馬は苦手なタイプも多いので、馬は絞れます。

今日の馬場傾向を見る限り、外枠のサンデーとノーザンダンサーを強化されたタイプを狙います。

昨年 2 着のファインルージュは父がキズナで母は 1000m 得意な馬。

3 着レシステンシアもスプリント戦ではタメて末を伸ばす競馬が得意。父もタメを利かせられるマイラーのダイワメジャー。母父はダンチヒ系。

22 年は中距離指向ではありましたが、伸び血統の王様ディーブ産駒の 1-3 着。

14 人気 4 着のダイヤモンドはスプリント重賞実績馬。母系にフェアリーキングで 1200 重賞では差して実績を残していた馬。

本命はナミュール。

父がハービンジャー。母父がダイワメジャー。レシステンシアの父と母父を逆にしたような配合ともいえますし、ハービンジャーで母父クロフネのノームコアに近い配合ともいえます。

母系にキョウエイマーチ。
マルシュロレーヌも出し、自身も 1400m で
高いパフォーマンスを発揮した馬。

ナムラクレアの父はミッキーアイル。
スプリント G1 にも高い適性を示したマイル G1 馬。
本命馬同様、デインヒルとサンデーを両方持つ馬。
スプリント能力と伸びを兼ね備えた配合。

ルージュスティリアはディープ×ストームキャットで外枠、川田騎手騎乗。
サトノアラジンパターンを思い出させます。
前走はディープのスピードが削がれた馬場。

スターズオンアースは父ドゥラメンテ。ドイツ牝系。
スプリント指向のレースは合いません。内枠も不利。